

令和 8（2026）年度事業計画（2026年7月1日～2027年6月30日） 2. 事業の実施に関する事項

	” 救う ” ステージ	” つなぐ ” ステージ	” 解決 ” のステージ
＜一般会計＞			
(1) ネットワーク の拡大・支援	○患者・家族会への助成金交付 ○患者・家族会設立助成金の交付		
(2) 情報収集提供 ・政策提言	○発症初期に必要な情報を詰めた1型糖尿病患者向けのバック配布（希望のバッグプロジェクト） ○インスリン補充が必要な2型糖尿病患者向けのバッグ配布（希望のバッグプロジェクト2） ○成人の1型糖尿病患者に対する全国一律の医療費助成制度創設を求める政策要望 ○佐賀県での25歳まで及び妊娠準備期から産後1年まで（42歳まで）の1型糖尿病患者医療費助成＜佐賀県企業版ふるさと納税活用＞ ○岡山での25歳までの成人1型糖尿病患者医療費助成 ○介護施設等での介護職員によるインスリン療法実施のための政策要望 ○救急救命士による重症低血糖対応を求める政策要望 ○製薬企業・医療機器関連企業からの患者・家族に向けた情報提供についての政策要望 ○糖尿病の障害年金「障害等級2級」認定に関する運用改善及び認定基準の明確化を求める要望 ○医療的ケア児及びその家族に対する支援についての要望 ○企業との協働による高額な医療費に備えるセミナーの開催 ○中高生患者向けキャリアデザインセミナーの開催 ○学校、幼稚園等での説明用パンフレットの配布 ○祖父母への説明用パンフレットの配布 ○活動概要を紹介したパンフレットの改訂・配布 ○ホームページのリニューアル ○機能重複・情報分散・業務属人化の改善	○1型糖尿病[IDDM]レポート（IDDM白書）2026の作成 ○発症初期の患者・家族向けセミナーの開催 ○妊娠・出産に関するセミナーの開催 ○50代・60代の患者向けセミナーの開催 ○乳幼児（2歳未満）患者の家族向け動画コンテンツの作成 ○PRESS IDDMによる情報発信 ○各種学会への参加による情報発信	
(3) 調査研究	○1型糖尿病[IDDM] お役立ちマニュアルの配布 ○災害対応パンフレットの作成及び啓発	○研究協力	○ファンドレイジングの強化

令和8（2026）年度事業計画（2026年7月1日～2027年6月30日） 2. 事業の実施に関する事項

	” 救う ” ステージ	” つなぐ ” ステージ	” 解決 ” のステージ
(4) 関係団体との連携		○Breakthrough T1D(旧JDRF、米国の1型糖尿病研究財団)等国内外の糖尿病関係団体、製薬業関係団体、医療系関係団体等との連携	
(5) 普及啓発		○YouTube等を活用した1型糖尿病の理解促進 ○講演会等での啓発	
(6) 療育相談	○高齢患者交流会の開催 ○インスリン補充をしている方のためのエンディングノート「もしもノート」を活用した将来の備えについての啓発 ○電話やメールによる相談 ○ホームページ、SNS等による情報発信		
(7) 会報発行	○活動報告（年1回程度） ○メールマガジンによる情報発信（年6回程度）		
(8) 中間支援		○ファンドレイジング（資金調達）に関する助言 ○CSO（市民社会組織）活動への支援・助言	
(9) 管理運営	○業務改革の推進（AIの活用、経理・労務業務委託等） ○次世代を担う人材の育成（自走型組織に向けた研修等） ○副理事長及び専務理事の選任 ○最低賃金「2020年代1500円」及び退職金への備え（資産運用や収益事業の強化等） ○ボランティアの”参加”による活動・運営体制の強化 ○弁護士、税理士及び社会保険労務士との顧問契約による運営体制の強化 ○認定特定非営利活動法人の有効期間更新		

令和8（2026）年度事業計画（2026年7月1日～2027年6月30日） 2. 事業の実施に関する事項

	” 救う ” ステージ	” つなぐ ” ステージ	” 解決 ” のステージ
＜ 1 型糖尿病研究基金 特別会計＞	1 型糖尿病の根治に向けて研究を進める研究者や研究団体に対し研究費の助成を行うことにより、1 型糖尿病を” 根絶 ” する。		
(1) 1 型糖尿病 研究費助成			○1型糖尿病根絶に繋がる研究への投資・助成 ○第21回研究費助成（公募、最長9年間） ○継続研究費助成 ○佐賀大学の糖尿病ワクチン開発及への助成＜佐賀県企業版ふるさと納税＞
(2) 広報 ※1 型糖尿病研究基金の造成			○研究室訪問 ○研究の内容・成果情報発信 ○ふるさとチョイス、佐賀県庁等との協働による「日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税」 ○佐賀県庁との協働による「日本IDDMネットワーク事業指定の企業版ふるさと納税」 ○ソフトバンク(株)との協働による「つながる募金」及び「チャリティモバイル」 ○Yahoo! ネット募金 ○セブン&アイグループとの協働による買い物マイル寄付 ○チャリティイベント（東京マラソン・大阪マラソン等）への参加・開催 ○クラウドファンディング ○マンスリーサポーター強化 ○希望の自動販売機プロジェクト（寄付つき自販機の設置） ○「お宝エイド」、「VALUE BOOKS」及び「Brand Pledge」による不用品寄付 ○書き損じはがきプロジェクト（未使用はがきの提供呼びかけ） ○寄付つき商品の提案・利用促進 ○1 型糖尿病患者・家族関係者のお店サイト ○冠基金 ○遺産、香典返し等による寄付 ○株主優待寄付 ○募金箱プロジェクト ○Amazon「みんなで応援」プログラム ○希望の祝杯プロジェクト

令和8（2026）年度事業計画（2026年7月1日～2027年6月30日） 2. 事業の実施に関する事項

	” 救う ” ステージ	” つなぐ ” ステージ	” 解決 ” のステージ
(3) シンポジウム			○研究者と患者・家族との接点を強化するためのサイエンスフォーラムの開催
(4) 管理運営	○業務改革の推進（AIの活用、経理・労務業務委託等） ○次世代を担う人材の育成（自走型組織に向けた研修等） ○副理事長及び専務理事の選任 ○最低賃金「2020年代1500円」及び退職金への備え（資産運用や収益事業の強化等） ○ボランティアの”参加”による活動・運営体制の強化 ○弁護士、税理士及び社会保険労務士との顧問契約による運営体制の強化 ○認定特定非営利活動法人の有効期間更新		